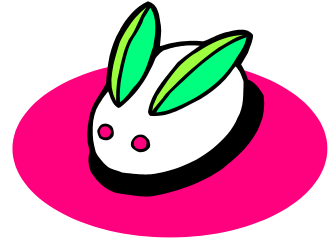




近畿支部会報2011年1月新春号

新年のご挨拶



近畿支部長

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、いつもサーバスの活動にご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、近畿支部がサーバス国内会議の会場当番になりました。支部長になりたての私でしたが、会員の皆様の絶大なご協力のおかげで、無事、役割を果たすことが出来ました。夏にはA.T様のご協力で、A事務所には多くの会員が集まり、天神祭を楽しみました。又、とても悲しい事も起こりました。それは、長年サーバスに力を尽くして下さいだったI.K様がお亡くなりになった事です。突然の事で、皆驚き心を痛めました。そして、I様のお働きに感謝して、ご冥福を祈ると共に、私たちの気持ちを天国のI様にお伝えしたいと、会員の思いを寄せて追悼集を作りました。喧々諤々議論をした奈良での例会、観光も兼ねた1品持ち寄りの楽しい京都での例会、秋の天津例会では、コロンビアの講師が講演を下さり、私たちが日頃何気なく過ごしている日本について、改めて振り返る機会を与えられました。そして年末、いつもの大阪の会場で、会員O.N子様のご協力を得て、素敵なおチェロの演奏を聴きながら、無事に総会を終える事が出来ました。これらは偏に会員の皆様のお働きの賜物に他なりません。誠にありがとうございました。又、それらに加えて、年末から今年にかけて、私には嬉しい事がありました。その1つは、若い学生の方が4人もサーバス近畿支部に入って下さった事、もう1つは、アンケート等でいつもは聞けない多くの会員様の声が聞けた事です。会員の皆様と気持ちが通じる事は、何にも増して私を励ましてくれ、私も皆様のサーバスに対する思いを受け止めて、しっかりせねばと気持ちを新たにしている所です。微力な私ですが、皆様にも力を合わせて頂いて、今年1年、近畿サーバスが良き歩みを出来るようにと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 2010年度サーバス近畿支部総会報告

近畿支部長

日時 2010年12月19日(日) 場所 大阪弥生会館

参加者 本部役員3名 支部役員5名 会員(大阪6名 奈良1名) 家族(京都1名)
計16名

年末の賑わいが感じられる大阪で、今年も行いました。まず最初に総会を行いました。皆さん、事前に送信した総会資料をばっちり理解して来て下さったので、とてもスムーズに終える事が出来ました。その後、今年の夏にお亡くなりになったI.K様に皆で黙とうをささげ、A.T様の乾杯音頭の元、楽しい会食が始まりました。今日の音楽は会員O.N様によるチェロの演奏です。クラシックから流行歌まで幅広く演奏して下さい、「音楽ってとても

暮らしを豊かにするなあ」と、つくづく感じられる良い一時でした。私たちは素敵な演奏を聴きながら、お料理を頂いたり、おしゃべりが楽しめました。さて、そこで N.I 様の出番、N 様は A 様が今年 80 歳になられたのを祝うため、プレゼントを用意して来て下さいました。O 様の演奏で、皆で”Happy Birthday To You”を歌い、A 様の傘寿を祝いました。今回は若い方が 4 人も入会・参加して下さいたとても嬉しい総会なので、自己紹介もサーバスの事が 4 人の方に伝えられるように、各自サーバスでの経験も交えながら行いました。いつもながら楽しいおしゃべりに花が咲き、最後のデザートは 2 分ではおぼろという忙しい幕切れでしたが、皆で楽しい時が過ぎて、1 年の最後に良い締めくくりが出来た集まりでした。



報告事項

1. 2010 年度事業報告

3月13日	春の例会	奈良市	みぞさ寿司東大寺店	12名参加
3月27～28日	日本サーバス国内会議	京都市	京大会館	15名
6月13日	初夏の例会	京都市	H.T 会員宅	10名
7月25日	夏の例会	北浜	A国際ビジネス特許事務所	19名
10月16日	秋の例会	大津市	湊町倶楽部	12名
12月19日	支部総会	大阪市	弥生会館	16名

2. 本年度取り組んだこと

① サーバスパンフレットについて

近畿支部のサーバスパンフレットを作り、会員に10枚ずつ渡して活用してもらうようにしました。

② ハイチ地震について

ハイチ地震について、サーバス国際本部ピースセクレタリーKさんの要請に答えて、義援金について近畿支部としても取り組みました。しかし、Kさんが入院され、体の調子がかばかしくなく、ピースセクレタリーをやめられて、新しい人になりました。新しい人には、ハイチの件について、引き継がれていないので、一旦集めた義援金は寄

付者に返金しました。

③ 日本サーバス 50 周年記念誌について

支部会員より原稿を集め、又、過去の支部会報も整理して、11月末日、50周年誌委員に提出しました。今後もサーバス50周年誌編集委員と連絡を取り、支部50周年誌委員を中心として、取り組んでいきます。

④ I.K様の死去について

長年サーバスで御活躍下さったI.K様が8月20日心筋梗塞の為、お亡くなりになりました。心からお悔やみをし、葬儀会場に花を供え、通夜、葬儀に参加出来る会員でお参りました。又、サーバス本部と共同で追悼文集を作り、関係者に配布しました。(御家族、サーバス本部・支部、追悼文の執筆者にはプリントアウトして渡しました。この原稿はサーバス50周年誌にも載るので、他の人にはメールにて送信しました。)

⑤ サーバストラベラーの観光案内について

サーバストラベラーを観光にホストすると、入場料でも馬鹿にならない位の金額になります。付き添いで行く場合は、付添人は無料にするような制度が欲しいとの要望が会員からあり、同じ様な趣旨のグループではどのようにされているか、調査しました。又、会員がその事に取り組んで支部に報告し、その方法を近畿支部に広めました。

⑥ 次回近畿での国内会議開催について、他支部よりの要望を元に、次の様に決めました。

*実施時期を宿等が混まない時期に早める(2月下旬～3月上旬)。

*場所は、近畿内でかつ交通の便利な大阪、奈良、京都、滋賀県等広く考える。

*全国の方にも余裕を持てるように、近畿支部での取り組みを早くする。

3. 今年度文章化した支部規則

① 例会時のマナー

- ・時間に送れない。遅れる人がいても、定刻通りに始める。
- ・会議中は、議題以外の事は話さない。
- ・会議中は禁酒、禁煙とする。
- ・例会やその他のサーバスの会議に出席する者は、それにふさわしい態度で会議に臨めるようにする。

② 会計について

今年度、年会費は前の年度の12月初めから集め、12月末を締切日としていたが、それは会計法上おかしいので、翌年の1月15日を締め切りとする。

討議題

1. 支部役員について

今の役員は12月末までが任期なので、全ての役員を公募しましたが、応募は0でした。そこで次のように決まりました。

支部長 H.T(母の介護の為、泊を伴う国内会議には参加困難という付帯条件付き)

副支部長 M.T (インタビュー担当)

副支部長 K.K(会計担当)

ホストコーディネーター T.S

会計監査 T.S

尚、今まで役員をして下さっていた副支部長のOさんとホストコーディネーターのSさんは健康上の理由で役員をやめられました。ありがとうございました。どうぞ、お体を大事になさってください。

2. 2011年度事業計画

提案通り、次の様に決まりました。

3月 春の支部例会

5月 初夏の支部例会

10月 秋の支部例会

12月 支部総会

ホームページは、原則として、各例会終了後に立ち上げます。

今年度、天神祭を楽しむ例会は人気があったので、出来ればそのような企画もしたいと思います。皆様、何か良い案があれば、お寄せ下さい。

3. 2010年度近畿支部会計報告、及び2011年度近畿支部予算（仮案）について提案通り承認されました。

2. 北から南から

会員交流「北から南から」が久しぶりに登場です。原稿を寄せて下さったのは、新入会員のお二人です。皆様も続いて、自己紹介・ご当地自慢等、直接サーバスに関係ない事で結構です。お互いに知り合い、親しくなれるように、身近な事をおよせ下さい。

大阪府泉南郡 A.H

こんにちは。大阪府泉南郡田尻町に在住しております、大学一回生のAです。田尻町は人口8000人ほどの小さな町で、大阪府に住んでいらっしゃる方でもその存在を知っている方はほんの僅かだと思います。だけど、私はこの町が大好きです。小学校と中学校は共同の運動場を中心に向かい合って建っているので、交流もしやすく、また合併もないので、最大幼稚園から中学校まで12年間同じメンバーで過ごすことになり、生徒同士はとても仲が良かったです。地域の交流も盛んで、平和な町です。そんな町から、外の世界へ出るのは、少々不安がありましたが、経験してみると、たくさんの価値観や文化と出会い、とても楽しいものだなぁと思っています。サーバスを利用させていただいて、これからも外の世界へ出て、もっとたくさんの経験を積みたいです。よろしくお願いします。

『違い』はおもしろい

奈良市 I.M

はじめまして。サーバス新入会員の I.M と申します。私は大学 1 回生で、同じクラスの友人らと一緒にサーバスに入会させていただきました。大学に入って少し経ったころ、英語の授業の中でアメリカ人の先生がサーバスを紹介してくれたことがきっかけとなり、入会に至りました。

私は奈良で生まれ育ち、今は奈良の実家から大阪の大学に通っています。大阪に通うようになったことがきっかけで、今まで生きていた自分の世界観がいかに狭いものだったかを思い知りました。同じ近畿でも、奈良と大阪では景観も違いますし、人の多さやお店もまったく違います。奈良には景観保護のためにさまざまな決まりがあり、高いビルもありませんし、いたるところに緑があります。私の通っていた高校では、窓から若草山や五重塔を見ることができました。ところが大阪の繁華街に出てみると、街は人であふれていて、交通量も多く、車の音やお店の音などが重なり合って、まさに『都会』でした。人の性格も違い、大阪の人は元気でよくしゃべり、奈良の人はにこやかでおっとりとした印象があるということにも気がつきました。



私はこのような文化の違いを、とても「おもしろい」と感じます。日本に限らず、様々な国の文化も知りたいし、体験したいと思っています。サーバスに入って一番楽しみなことは、サーバスを通じた人との交流です。住んでいる地域、国によって、ことば、食べ物、習慣、考え方など、さまざまな違いがあります。その違いを知ることは、とてもおもしろいことであり、また違いを認め合うことは平和にもつながっていくと考えます。すべての文化の根本にあるものが、「人」自身であると考えるので、これからたくさんの人との交流を通じて、私の中にある世界観を広げ、平和の一端を担いたいと考えています。

3. トラベラー報告

Merry Christmas & Happy New Year

京都市 H.T

2010年12月21日～2011年1月6日カリフォルニアに行ってきました。

21日、関空に着いたら、私たちが乗る大韓航空はソウルの霧のために2時間遅れとのこと、出だしからひやひやものです。幸い、ソウルでの乗り継ぎ時間が3時間余りあったので、無事ロスアンゼルス空港に着き、出迎えの友達の笑顔に迎えられて、ほっとしました。いつも青空のカリフォルニアですが、雨でした。何でも観察史上2番目の雨量との事、とんだ歓迎です。街のあちらこちらや友達の家には、クリスマスのデコレーションが施されており、クリスマスモード

満点です。クリスマスの飾りはサンクスギビンググディが終わると、すぐに取りかかるそうです。23日まで Pasadena の友達の所で、そのお友人宅を訪問したり、街へ出かけたり、クリスマス気分を味わいながら滞在し、24日からサーバス旅行に出かけました。

23日、次なる滞在地・Oceanside へのアムトラック(電車)のチケットを買いに駅へ行きました。所が又もハプニング、連日の雨の為に土砂崩れが起こり、現在電車が動いていないので、明日また来るようにとのことでした。帰ってサーバス宅と連絡を取り、電車が動いていなければ、友達がステイ先へ車で送ってくれることになりました。

24日、幸い電車が動いて、私たちは青空の元、太平洋岸の景色を楽しみながら、Oceanside まで、列車の旅をしました。駅に降りると、P・Dさん御夫妻が待っていてくれました。Pさんは素敵なクリスマス柄のトレーナーを着て、クリスマスハットを被っていたので、クリスマスムード満点です。私も友達のプレゼントのポインセチア柄のベストを着ていました。友達がクリスマスは皆がクリスマスを演出するからと、私たちにクリスマス柄のソックスとクリスマスカラーのトレーナーをくれていました。電車の中でも、ポインセチアの髪飾りをつけたり、皆がクリスマスムードを演出していました。全く楽しいクリスマス休暇です。早速海岸の観光用栈橋の突端にあるレストランへ行き、昼食です。窓からはウインドサーフィンに興じる人々が見られ、最高の昼下がりでした。食後、海岸を散歩、抜けるような青い空にヤシの木が林立して、全く南国の雰囲気です。その後、San Diego 熱帯植物園へ行きました。ここにも、クリスマスツリーにサンタの家、そして、すごく工夫された子どもが遊べるコーナーがあり、1日中いても飽きない所でした。いよいよ、Dさんのお宅へ。玄関を入るや、大きなリース・クリスマスツリー・ポインセチア、、、いろいろなものが私たちを迎えてくれました。暖炉には、靴下に入ったプレゼントがどっさりかかっています。一服して楽しい夕食、夕食後は明日の準備です。私たちにケーキの家を作っておいて下さったので、それにデコレーションです。屋根に煙突を作り、サンタさんをおいて、屋根い



っぱいにプレゼントを描きました。反対の屋根にはトナカイさんが勢いよくやって来る所です。壁面には大きなクリスマスツリー、11時頃までかかって仕上げました。

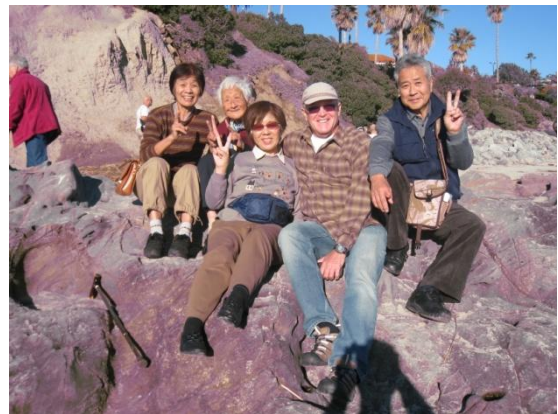
25日、いよいよクリスマスです。Dさんはダックの料理、綺麗に洗って中に詰め物をし、オーブンへ。焼くのに4時間かかるそうです。私たちも日本から持ってきたものであべかわもちや、寒天寄せのサラダを作りました。やがてメ

キシコからもお客さんの到着で、クリスマスパーティとなりました。食べたり、おしゃべりしたり、プレゼントの交換、あっという間に楽しい時が過ぎてしまいました。

26日、朝から近くの丘へ行き、Oceansideを見下ろして目に焼き付けました。昼食後、次なる訪問地・San Diego へ車で送って下さいました。San Diego のホストはJ・Lさん御夫妻で、家はダウンタウンに非常に近い所です。先ず、Old Townへ行きました。ここはスペイン人によってつくられた町で、19世紀の町並みが保存されており、店にもメキシコの物が溢れています。古い家や教会を訪れ、往時をしのびました。家に帰ってからはワインを飲んだり、バーベキューの楽しい夕食でした。

27日、Bolboa Park へ行きました。先ず、スペイン風の家並みや石畳、のどかな中庭のある Spanish Village Art Center を訪れました。昼食後は Botanic Garden や San Diego Museum of Art に行き、ゴヤ等の絵画やアメリカの現代アートを楽しみました。夕食は日本人だからと、魚料理をして下さいました。ここでは観光場所まで車で送ってもらい、観光が済めば電話をして迎えに来てもらうというスタイルでした。

28日、次なるステイ先、Mission Viejo へ電車で行きました。このホストは M・J さん御夫妻です。駅にはホストのMさんが来て下さっていました。家に行き、昼食の後、観光に出発、先ずはLaguna Beach へ。お天気も良く、多くの人がサーフィンや水泳に興じています。私たちも岩に座り、海辺でのひと時を楽しんだり、又、車で丘に上がり、眼下に広がる景色を楽しみました。次に Mission Viejo Lake へ行きました。これは人口の大きな湖で、ここに人を寄せる目玉として作られたものです。クリスマスのイルミネーションが輝く湖岸を散歩しました。帰りに、クリスマスの飾りをしている家を見に行きました。地域一帯が飾っていて、中途半端ではないスケールで目を見張りました。ここはテレビでも放映された位、有名だそうです。



29日、朝から雨、J さんが Bowers Museum へ案内して下さいました。カリフォルニアに焦点を当てた民族博物館のようでした。博物館にいる間に小雨になり、昼食の後はバッチリ青空、Dana Point Harbor へ向かいました。途中から又雨になり、Jさんは引き返そうかと言われましたが、私たちは「かける」と言い、海辺に着くや青空、何とラッキーな事、ヨットハーバーやサンセットを楽しみました。今夜も楽しい御馳走とデザート、アメリカ的な食事を楽しんだステイでした。

30日、Pasadena の友人が迎えに来てくれ、再び Pasadena へ帰り、ゆったり時を過ごしました。1月1日 Pasadena にはアメリカンフットボールで有名な Rose Bowl があります。1日には有名な Rose Bowl Parade があり、国内外から多くの観光客が訪れます。私たちも友人が座席券を買っておいてくれたので、朝早くから出かけました。会場はごった返す多くの人、パレードには



山車・音楽隊・チェアガールや踊りの人等が出ます。山車は自然の物だけしか使えず、花等でとても美しい装飾が施されていました。素晴らしいの一言、2時間余り、息をのむ美しさにみとれました。

2日、次なるサーバスホスト・Rさんの住む Santa Barbara へ電車で行きました。所が駅に着くと、Mさんというサーバスの方が来て下さっていて、Rさんは体の調子が悪くなったので、ホテルへ案内するという事です。「えっ？ 昨晚も電話をして、訪問を確認したのに、、、」私たちは観光のヒントをRさんから得て、観光しようと思っていたので、はたと困りました。Mさんがディホストをして下さればと思ってお聞きしましたが、それは出来ないとの事、雨が降っているので、海辺は駄目だ

ろうし、不案内な街中を車いすの母を連れて尋ね歩くのは大変、それでPasadena へ引返すことにしました。Mさんは車で町を簡単に案内して下さり、家に行って昼食をよばれました。Mさんには感謝していますが、Rさんは私たちの乗る列車を知っているのに、なぜ出発前に連絡を下さらなかったのかと、恨めしく思う気持ちしきりです。

Pasadenaには予定外に帰ってきたので、友達はスケジュールがあり、私たちが観光する事になりました。1日はハリウッドに、1日はダウンタウンへバスで行きました。バスは頻発しており、車いす用のスロープはどの車両にもついています。車内では椅子を2〜3席跳ね上げて車いすを固定するようになっています。誰かが座っていても簡単にのいてくれます。それ所か、手押し車を押している老人にもスロープを出してあげたり、目の悪い人が乗って来ると、すぐ席を替わってあげたりという事が、いとも自然に行われています。そういうことをするために停車時間も長くなるのに、何のこだわりもありません。日本とは大違いです。昨年秋の例会で、コロンビアの人が言われた「自分の国では時間がもっとゆっくり流れている。日本は何でも時間通り事が運び、物質的には豊富だけれど、精神的なゆとりがなく、精神的な事が忘れられかけていて、人間らしい生活が欠けているように思う事もある。」という言葉を出しました。バスの運転手は偶然にも、2日間とも同じ人に巡り合い、「降りる駅は知っているからゆっくり乗っておいで」とか、とてもおおらかで親切でした。いつもアメリカに来ると感じるのですが、いろんな人が混じりあっていて、それなりの問題はあるでしょうが、単一民族で異種を受け入れ難い日本とは大違い、アメリカは異種が大過ぎて異種なんて言っていられない、誰も



が各々に個性を持った人と受け止められている、今回もそんな大きなアメリカを感じた旅でした。

4. トラベラー受け入れ報告

ウクライナ系アメリカ人、Sさん、Eさんを迎えて 奈良市 F.H

ウクライナ系アメリカ人のS.E 夫妻は、昨年10月9日（土）10日（日）に、奈良県生駒市の私の実家に2泊されました。10日間にわたる初めての日本旅行の最終地点として、我が家に来られ、その後はアメリカ・ユタ州のソルトレイク・シティに帰っていかれました。ご夫妻にとっても初めてのサーバス旅行で、私達にとっても初めてのサーバス・ホスト経験でした。外国人と接する機会が殆どない私の家族は当初、かなり緊張していましたが、僅か二日間でこれほど打ち解け、楽しい友人同士となってお別れできたのは驚きです。このように楽しい時間を共有できたのも、SさんとEさんのお人柄、彼らの日本に対する旺盛な好奇心、家族の協力のお陰だと思います。私達は英語が全く堪能ではありませんが、それでも一緒に食事を食べ、写真を見せ合いながら意思疎通を図っていくうちに、緊張が解け、気の置けない親友のように談笑していました。

「アメリカ人」ということで、私達は夫妻に対し最初、色んな先入観を持っていたかもしれせん。しかし我が家に泊まって頂き、近くで接しているうちに、ユニークな個性をもったお二人として、夫妻のことが段々分かって参りました。例えば最初に気を遣ったのは、食事です。事前にお二人があまり肉を食べないとお聞きしていましたが、アメリカ人なので、母は最初の晩、大きな豚カツを揚げ、カレー・ライスに添えました。が、ご夫妻は豚カツを一切れも取らず、煮物をせつせと召し上がっておられました。鯉節をかけた豆腐も喜んで召し上がりました。「アメリカ人だから、よく召し上がるだろう」と思えば、小食で、父は「そんなに大きなお身体を、どうやって支えるのですか!？」とびっくりしていました。

ベジタリアンのようなお食事の嗜好、そして当初「高野山の宿坊に泊まりたい」と仰っていたことから、E.S夫妻は仏教徒かと思いましたが、それは違っていました。1日奈良観光にお付き合ひし、東大寺、二月堂、三月堂、若草山、興福寺、猿沢の池をまわりました。東大寺大仏殿や興福寺の特別公開で、熱心に仏像を観察し、それぞれの仏像の装飾の意味を聞いて来られたのは印象的です。五重の塔を色んな角度から何枚も写真に撮っておられました。「仏教徒ですか」とお聞きすると、そういうわけではなく、西洋にはない五重の塔のような建築や、日本の風景に興味があるのだと仰っていました。初めて英語で奈良公園を案内したため、仏像や建築についての質問にきちんと説明できなかったのが、申し訳なかったです。建築内のガイドさんに私が質問し、「五重の塔には仏陀の遺骨が埋葬されていると言われている」などと、断片的な説明をするのみでした。それでも気さくなご夫妻は、熱心に私に耳を傾け、「そうかそうか」と小さな情報に納得されていました。昼食は昨年サ

ーバス例会があった、東大寺横の「いざさ寿司店」で蒸し寿司を食べ、観光の終わりには奈良街のお茶屋で、飛び込みでお茶点でのレッスンを受けました。Eさんが京都のホストと祇園でお茶点てを経験したのに感激し、奈良でもレッスンを受けたと言われたのです。私もこのとき初めてお茶点てを体験し、茶道のお道具の優美さやお茶点ての難しさを学びました。日本文化に興味がある E さんのお誘いがなければ、日本人とはいえ、一度もお茶点てを経験することはなかったでしょう。丁度秋真っ盛りで、お茶室に飾られた軽やかなコスモスが印象的でした。

奈良駅界限は小さな街で、E.S 夫妻は前日に自分達で奈良を少し観光したこともあり、あまり新しい場所に行きませんでした。昼下がりには三条通りを、関西の消防隊が各市対抗で、鼓笛隊のマーチングをしていたり、さり気ない催し物をその場、その場で楽しむことができました。

異文化のお客さんを自宅で接待できたことはまた、私達家族にとって新鮮な刺激になりました。母は気遣い多い、典型的な日本主婦で、ご夫妻の部屋の布団や常備するものについて、あれやこれや、夫妻の周りで手伝っていました。お客さんを手取り足取りお世話するのを責任、と考えている母を見て、S. E 夫妻は「そんなに気を遣うことないのに～」と笑っておられました。私達の普通の生活を乱したくない、と言って、お二人は電車とバスを利用され、観光の一日は、車での送り迎えを遠慮されました。ご提供した部屋で、シャワーなど身の回りの用は全てなさり、両親は「アメリカ人のお客さんは自立しているなあ」と言っていました。

観光とともに、夕食やお茶の時間をともにしたことで、私達家族は S.E さんから色々な経験談やご意見を聞くことができたと思います。ご夫妻は先に述べたように、ウクライナからの移民で、1990 年代初頭にアメリカに移住される際、大変な経験をされたそうです。その時代のお話や、冷戦時、ロシアの監視下の生活。友人まで「スパイかもしれない」と怯えながら、いつ秘密警察がやってくるか分からない状況で、「戦争よりも、冷戦時代が苛酷だった」と仰っていました。共産主義経済のもと、冷戦時は職業の選択が許されず、S さんはアメリカに渡って初めて、看護師の資格を取り、看護師として働けるようになったそうです。一番なりたかった職業は医師で、それはかなわなかったが、アメリカ育ちの息子さんが歯医者になり、大変そのことを誇りにしていらっしゃいました。他にも、現在ウクライナとロシアとの緊張した関係や、ウクライナのインフラ整備の遅れ、また、冷戦期、東欧ブロックでいわゆる「分業」の生産活動を強いられたため、ウクライナは未だに製品を自国だけで、最初から最後まで生産することができない、と熱心に説明しておられました。

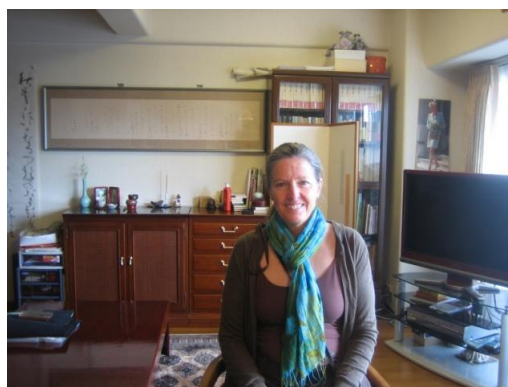
ウクライナといっても、私達日本人はニュースで断片的に知るだけで、ウクライナ人と顔を合わせてお話する機会など、普通皆無です。ですから、テレビで聞く現在のウクライナ・ロシア情勢をまさに証人から聞くと言った感じで、大変衝撃を受けました。

このように、二泊三日という短い出会いではありましたが、今回のサーバス・ホストの

経験で、私達は大変貴重な異文化の経験が出来たと思います。S.E 夫妻は沢山アメリカからガイドブックやポストカードなど、日本の私達にお土産を持ってきて下さり、「今度はソルトレイク・シティで会いましょう」と言って帰って行かれました。ご夫妻は繰り返し、「訪れたどの町も、どの人々も素晴らしく、どれが一番と優劣をつけられない」と仰っていました。このように、僅か 10 日の滞在でも、旅行者とホストがお互いの人、文化について良い感情を育むことができ、素晴らしい経験だったと思います。

京都市 K.K

本年5月に、サーバスに入会させていただき、10月21日～24日に初めて、海外からのお客様をお迎えいたしました。米国からの一人旅の女性 R さん、鞍馬の火祭りに是非、いきたいということで、時代祭と、鞍馬の火祭りに、ご案内できました。なかなか、見るできないお祭で、貴重な写真をたくさん撮られることができ、良かったです。滞在中には、書道の体験もしていただきました。初めて、海外の方と、4日間過ごせまして、少し、英語力も自信ができ、いい体験となりました。



5. お知らせ

① 次回支部例会のご案内

次回の支部例会を次の要領で行ないますので、ご参加をよろしくお願いします。

1、日時 2011年2月26日(土)11:30～14:30

2、場所 「旬彩ひより」

奈良市中新屋町 26 鶉屋(うづらや)倶楽部 1F TEL/0742-24-1470

3、費用 昼食代 2625円

4、内容 ・3月に開催されるサーバス国内会議へ提出する議題について

・M.T 様によるトラベルの報告

例会終了後、奈良の観光を楽しみましょう。

② 国内会議のご案内

日本サーバス会長より案内が来ています。参加される方は支部長までお知らせください。

日時: 2011 年 3 月 26 日(土)10:00-12:00 50年誌委員会開会

12:00 受付開始 13:00-17:00 第一日目会議 17:30-20:30 懇親会

3 月 27 日(日) 9:00-11:30 第二日目会議 12:00 解散

場所: 東京都大田区蒲田 5-13-26 大田区消費者生活センター 3階大会議室

参加費(懇親会参加者のみ)： 4,000 円

会議の最大の懸案は本部役員人事です。会長、副会長、ピースセクレタリー各1名を国内会議の場で選任しなければなりません。もう1つの懸案は来年刊行予定の「日本サーバス50年誌」の準備を進めることです。上記以外の議題あるいは特別な提案があれば、2月末までにお知らせください。